

石岡市駐車場整備事業経営戦略

団 体 名 : 石岡市

事 業 名 : 駐車場事業

策 定 日 : 令和 3 年 3 月

計 画 期 間 : 令和 3 年度 ~ 令和 12 年度

※複数の駐車場を有する事業にあつては、駐車場ごとの状況が分かるよう記載すること。

1. 事業概要

(1) 事業形態

法適(全部適用・一部適用) 非 適 の 区 分	法非適用	事業開始年月日	昭和53年5月1日
職 員 数	1人(兼務)	施 設 名	石岡市営駅東駐車場
種 類	都市計画駐車場	構 造	広場式
立 地	駅	建設後(建替後)の経過年数	43 年
駐車場使用面積	7,090 m ²	収 容 台 数	290 台
営 業 時 間	24時間		
民間活用の状況	ア 民間委託	料金徴収、施設管理業務及び保守点検業務を民間委託	
	イ 指定管理者制度		
	ウ PPP・PFI		

(2) 料金形態

※近隣駐車場に比較して減免を行っている場合は、その点についても記載すること。

料金の概要	最初の1時間まで	左記経過後1時間毎	定期契約者(月極)
	200円	100円 ※最大料金1日500円	5,500円
料金形態の考え方	近隣駐車場の料金設定を鑑み、料金を設定している。		
料金改定年月日 (消費税のみの改定は含まない)	平成18年10月1日		

(3) 現在の経営状況

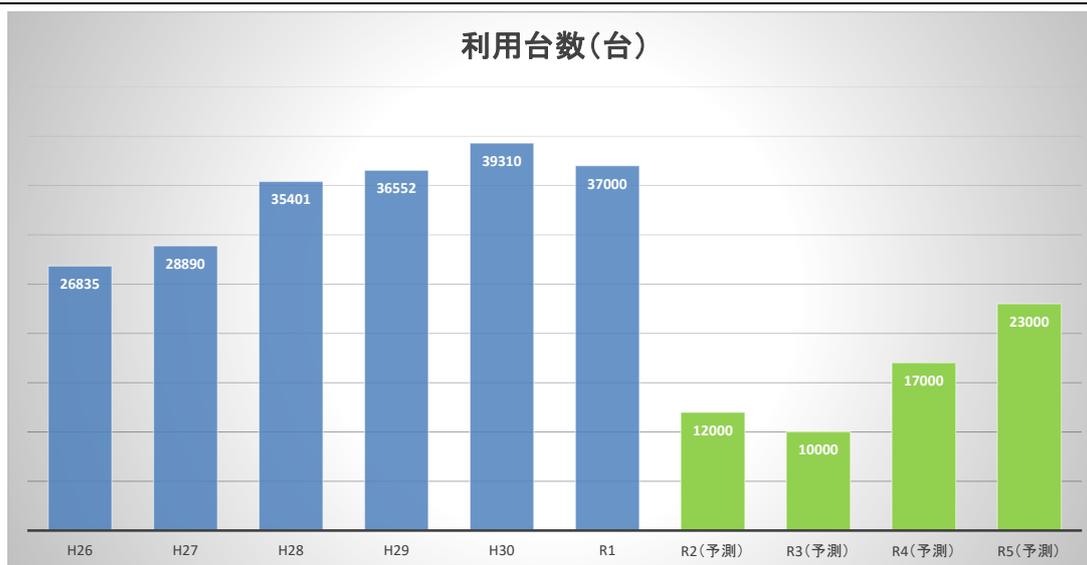
※直近の経営比較分析表(「公営企業に係る「経営比較分析表」の策定及び公表について」(公営企業三課室長通知)による経営比較分析表)を添付すること。

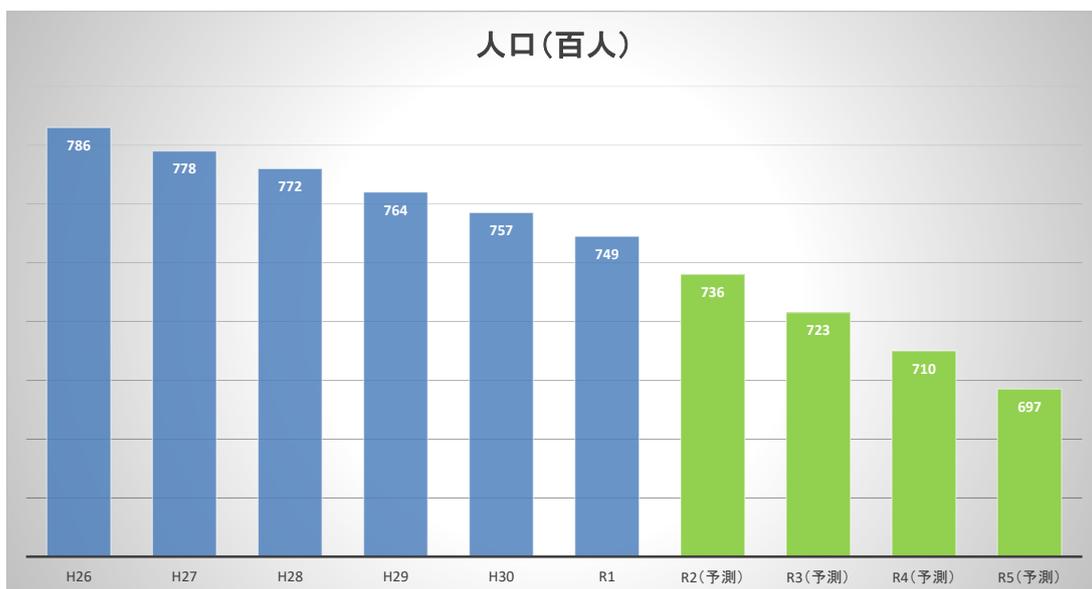
※添付した「経営比較分析表」に補足すべき内容(他の指標による分析結果など)を記載すること。

2. 将来の事業環境

(1) 駐車場需要の見通し

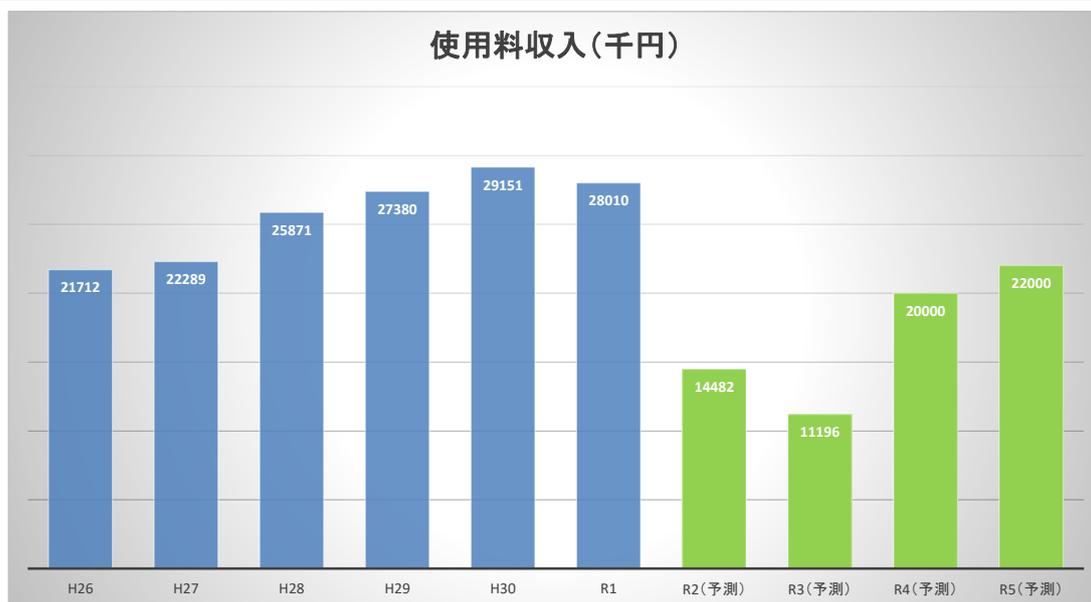
石岡市営駅東駐車場は、石岡駅を利用する通勤者が多く駐車しております。また石岡第一高等学校が近くにあることから、学校行事のある時、その他にも毎年9月に行われます石岡のおまつりの時には、参加者や見物客の多くが利用する傾向があります。利用台数に関しては、ここ数年は増加傾向でしたが、R2は新型コロナウイルスのため外出自粛となり、大幅に減少すると予測されます。その後は新型コロナウイルスの影響がおさまってくれば、徐々に回復するものと予測されますが、人口の推移から分かるように、今後は人口の減少が見込まれますので、大幅な回復は難しいと予測されます。





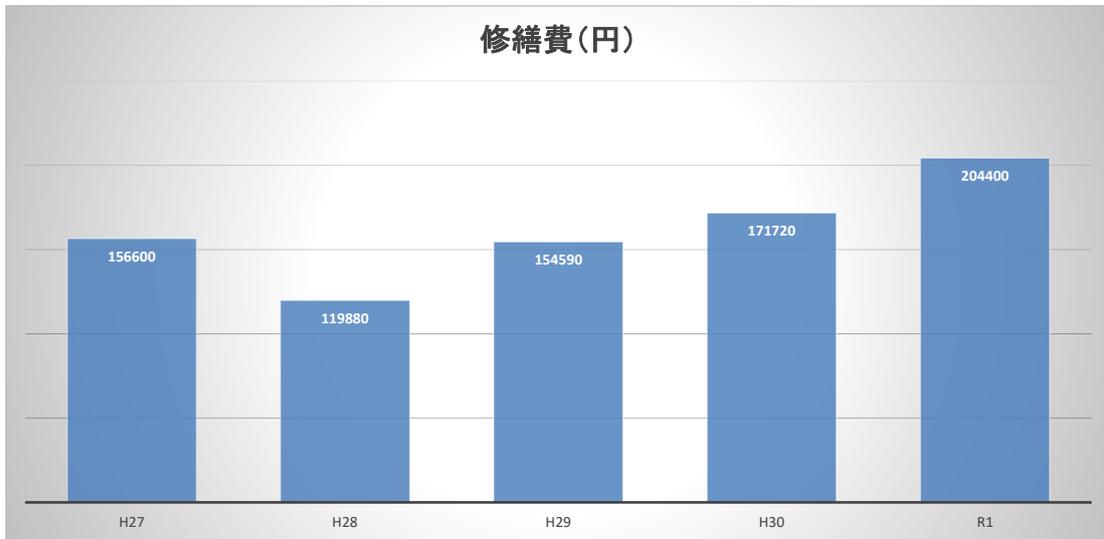
(2) 料金収入の見通し

使用料収入に関しても、ここ数年は増加傾向でしたが、R2は新型コロナウイルスのため外出自粛となり、大幅な減収になると予測されます。その後は新型コロナウイルスの状況によりますが、徐々に回復していくと予測されます。



(3) 施設の見通し

石岡市営駅東駐車場は供用開始から43年が経過し、今後さらに多くの修繕費が必要になると見込まれます。計画的な修繕により、施設の維持・管理を行い、長期的に駐車場を利用できるよう取り組みます。



(4) 組織の見通し

職員数は今後も1人(兼務)の予定です。

3. 経営の基本方針

・経営基盤の強化

今後の人口減少による使用料の減収が見込まれる中、安定した経営を実現するため委託料の削減、また長期的な駐車場の利用を可能とするため計画的な修繕を行います。

・利用者の満足度向上

計画的な修繕を行うことにより、利用しやすい駐車場を維持することで、利用者の満足度向上を目指します。

・駐車場使用料の据え置き

今後、人口減少が進むことにより、利用者が減り使用料の減収が見込まれますが、経費等の削減を図り、黒字経営を維持できる見込みのため、料金の改定は行いません。

4. 投資・財政計画(収支計画)

- (1) 投資・財政計画(収支計画)：別紙のとおり
(2) 投資・財政計画(収支計画)の策定に当たっての説明

① 収支計画のうち投資についての説明

目 標	毎年修繕費を計上し、日常的な修繕の対応を行う。
-----	-------------------------

現段階では、計画期間内で大規模な修繕は予定しておりませんが、今後は検討していく必要もあります。

② 収支計画のうち財源についての説明

目 標	石岡市が直接運営しており、利用者からの使用料が主な収入となるため、収入の確保に努める。
-----	---

近年の使用料収入に新型コロナウイルスの影響と人口の減少を加味して算出しました。

③ 収支計画のうち投資以外の経費についての説明

近年の委託料・管理運営費を基に算出しました。

(3) 投資・財政計画(収支計画)に未反映の取組や今後検討予定の取組の概要

※投資・財政計画(収支計画)に反映することができなかった検討中の取組や今後検討予定の取組について、その内容等を記載すること。

また、(1)において、純損益(法適用)又は実質収支(法非適用)が計画期間の最終年度で黒字とならず、赤字が発生している場合には、赤字の解消に向けた取組の方向性、検討体制・スケジュールや必要に応じて経費回収率等の指標に係る目標値を記載すること。

① 今後の投資についての考え方・検討状況

民間活用	現在、シルバー人材センターや民間事業者ら委託業者の協力のもと、安定的な運用がされていることから市管理の体制を継続する。
駐車場の配置の適正化	施設の利用状況などから、総合的に判断する。
投資の平準化	修繕箇所や設備投資をすべき箇所を精査することで、計画的な投資を行う。
その他の取組	

② 今後の財源についての考え方・検討状況

料 金	定期的に、近隣の類似駐車場の状況を確認する。
利用者増加に向けた取組	計画的な修繕を行い、利用しやすい駐車場を維持し、利用者の増加につなげる。
企業債	企業債の予定はありません。
繰入金	繰入金の予定はありません。
資産の有効活用等による収入増加の取組	中心市街地にあることから、収益が見込める場所であるため、使用料の徴収に努める。
その他の取組	

③ 投資以外の経費についての考え方・検討状況

委託料	料金徴収業務・清掃業務・保守点検業務・警備業務など、利用者への安定的なサービスの提供に係る業務委託を行う。
管理運営費	光熱水費・管理用品費など駐車場運営に必要不可欠な費用です。
職員給与費	市職員1人(兼務)の給与は一般会計からです。
その他の取組	

5. 公営企業として実施する必要性など

事業の意義、提供するサービス自体の必要性	中心市街地に立地し、主に石岡駅での通勤・送迎や近隣店舗利用者の駐車場として機能しており、中心市街地の集客力を高める。
公営企業として実施する必要性	中心市街地への来訪者の利便性を向上させることにより、中心市街地の支援となる。

6. 経営戦略の事後検証、改定等に関する事項

経営戦略の事後検証、改定等に関する事項	主に毎月の報告書から進捗管理を行い、大規模改修時等のタイミングで経営戦略の見直しを行う。
---------------------	--

投資・財政計画 (収支計画)

(単位:千円, %)

区 分		年 度	令和元年度 前年度 決算	令和2年度 本年度 決算見込	令和3年度 見込	令和4年度 見込	令和5年度 見込	令和6年度 見込	令和7年度 見込	令和8年度 見込	令和9年度 見込	令和10年度 見込	令和11年度 見込	令和12年度 見込	
収益的 収入	1	総 収 益 (A)	28,013	14,483	11,198	20,001	22,001	24,001	26,001	26,001	25,001	25,001	24,001	24,001	
	(1)	営 業 収 益 (B)	28,013	14,483	11,198	20,001	22,001	24,001	26,001	26,001	25,001	25,001	24,001	24,001	
		ア 料 金 収 入	28,010	14,482	11,196	20,000	22,000	24,000	26,000	26,000	25,000	25,000	24,000	24,000	
		イ 受 託 工 事 収 益 (C)													
		ウ そ の 他	3	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
	(2)	営 業 外 収 益													
		ア 他 会 計 繰 入 金													
		イ そ の 他													
	収益的 支出	2	総 費 用 (D)	5,463	6,548	5,844	5,900	6,700	6,800	6,900	7,000	7,000	6,950	6,950	6,900
		(1)	営 業 費 用	4,128	4,941	5,644	5,700	5,700	5,700	5,700	5,700	5,700	5,700	5,700	5,700
			ア 職 員 給 与 費												
			ウ ち 退 職 手 当												
			イ そ の 他	4,128	4,941	5,644	5,700	5,700	5,700	5,700	5,700	5,700	5,700	5,700	5,700
		(2)	営 業 外 費 用	1,335	1,607	200	200	1,000	1,100	1,200	1,300	1,300	1,250	1,250	1,200
		ア 支 払 利 息													
		ウ ち 一 時 借 入 金 利 息													
		イ そ の 他	1,335	1,607	200	200	1,000	1,100	1,200	1,300	1,300	1,250	1,250	1,200	
		3 収 支 差 引 (A)-(D) (E)	22,550	7,935	5,354	14,101	15,301	17,201	19,101	19,001	18,001	18,051	17,051	17,101	
資本的 収入	1	資 本 的 収 入 (F)													
	(1)	地 方 債													
		ウ ち 資 本 費 平 準 化 債													
	(2)	他 会 計 補 助 金													
	(3)	他 会 計 借 入 金													
	(4)	固 定 資 産 売 却 代 金													
	(5)	国 (都 道 府 県) 補 助 金													
	(6)	工 事 負 担 金													
	(7)	そ の 他													
	資本的 支出	2	資 本 的 支 出 (G)	23,200	8,445	5,354	14,101	15,301	17,201	19,101	19,001	18,001	18,051	17,051	17,101
		(1)	建 設 改 良 費												
			ウ ち 職 員 給 与 費												
		(2)	地 方 債 償 還 金 (H)												
		(3)	他 会 計 長 期 借 入 金 返 還 金												
(4)		他 会 計 へ の 繰 出 金	23,200	8,445	5,354	14,101	15,301	17,201	19,101	19,001	18,001	18,051	17,051	17,101	
(5)	そ の 他														
	3 収 支 差 引 (F)-(G) (I)	△ 23,200	△ 8,445	△ 5,354	△ 14,101	△ 15,301	△ 17,201	△ 19,101	△ 19,001	△ 18,001	△ 18,051	△ 17,051	△ 17,101		

